

平成 27 年度
草津市のまちづくりについての
市民意識調査結果報告書

草津市

目 次

1. 調査概要.....	1
2. 調査結果.....	2
(1) 回答者属性.....	2
① 性別	
② 年齢	
③ 居住年数	
④ 転入歴	
⑤ 居住地	
(2) 基本方針別にみる満足度評価.....	5
① 「人」が輝くまちをつくるための基本方針	
② 「安心」が得られるまちをつくるための基本方針	
③ 「心地よさ」が感じられるまちをつくるための基本方針	
④ 「活気」があふれるまちをつくるための基本方針	
⑤ 「行財政マネジメント」のための基本方針	
(3) 基本方針別にみる重要度評価.....	10
① 「人」が輝くまちをつくるための基本方針	
② 「安心」が得られるまちをつくるための基本方針	
③ 「心地よさ」が感じられるまちをつくるための基本方針	
④ 「活気」があふれるまちをつくるための基本方針	
⑤ 「行財政マネジメント」のための基本方針	
(4) 基本方針別にみる満足度と重要度.....	15
① 「人」が輝くまちをつくるための基本方針	
② 「安心」が得られるまちをつくるための基本方針	
③ 「心地よさ」が感じられるまちをつくるための基本方針	
④ 「活気」があふれるまちをつくるための基本方針	
⑤ 「行財政マネジメント」のための基本方針	
(5) まちの住み心地や日常の生活行動.....	20
① 住環境評価	
② 定住意向	
③ 日常の行動	
(6) 草津市のイメージ.....	24
① 都市イメージ	
② 地域資源	

1. 調査概要

【調査目的】

平成 22 年度から平成 32 年度を計画期間とする第 5 次草津市総合計画の確実な進捗管理を行っていくため、計画期間中の各年度末での市民の意向を把握することを目的とする。

【調査対象者】

市民 3,000 人

【選定方法】

住民基本台帳の 18 歳以上の者から、年齢、居住地域の 2 段階による層化無作為抽出とした。

【抽出条件】

抽出基準日：平成 28 年 3 月 1 日（火）

【調査方法】

調査は無記名とし、平成 28 年 3 月 14 日（月）から 3 月 28 日（火）を調査期間として、郵送により実施した。

【回収状況】

回収数 833 件、有効回答数 819 件、有効回答率 27.3%を得た。

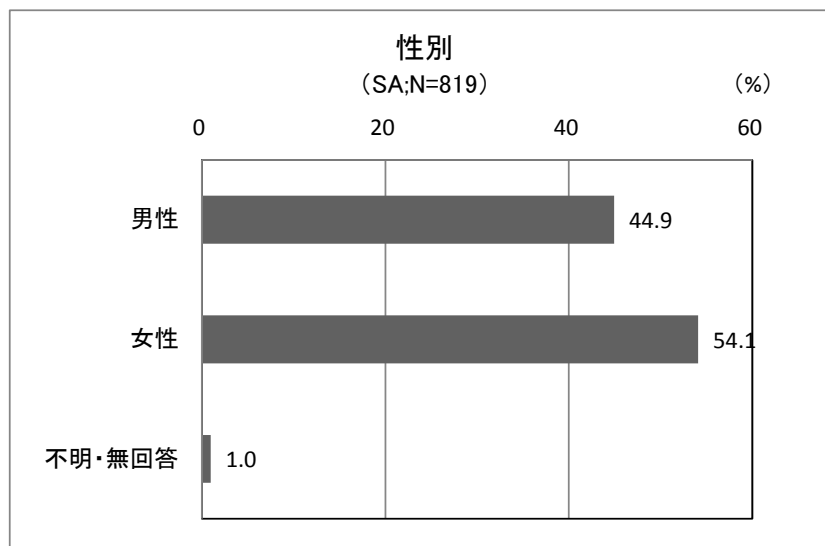
調査結果の表記について：百分率については、調査の有効回答数（N）を基数として算出している。小数点第 2 位以下を四捨五入しているため、それぞれの数字の合計が必ずしも 100.0%にならない。また、グラフ内に示した記号のうち SA は単数回答、MA は複数回答を示す。

2. 調査結果

(1) 回答者属性

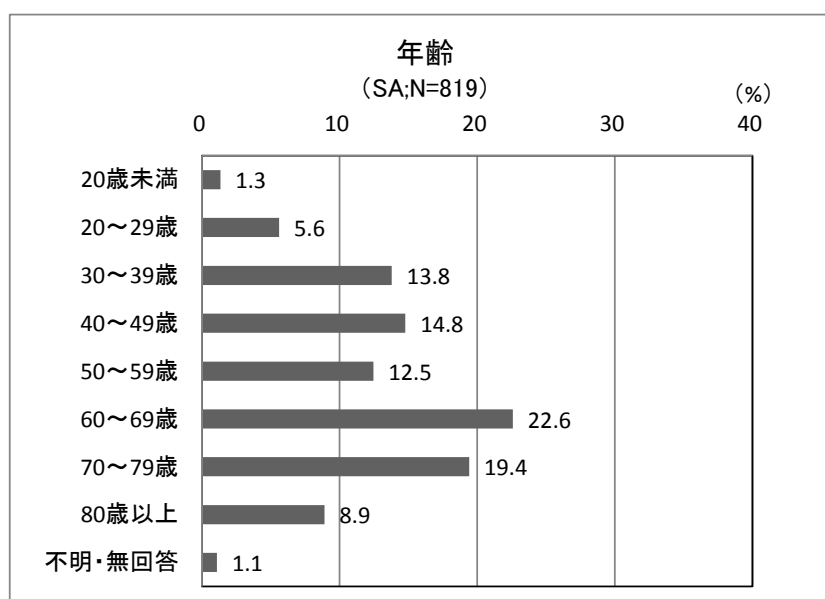
① 性別

「男性」が44.9%、「女性」が54.1%となっています。



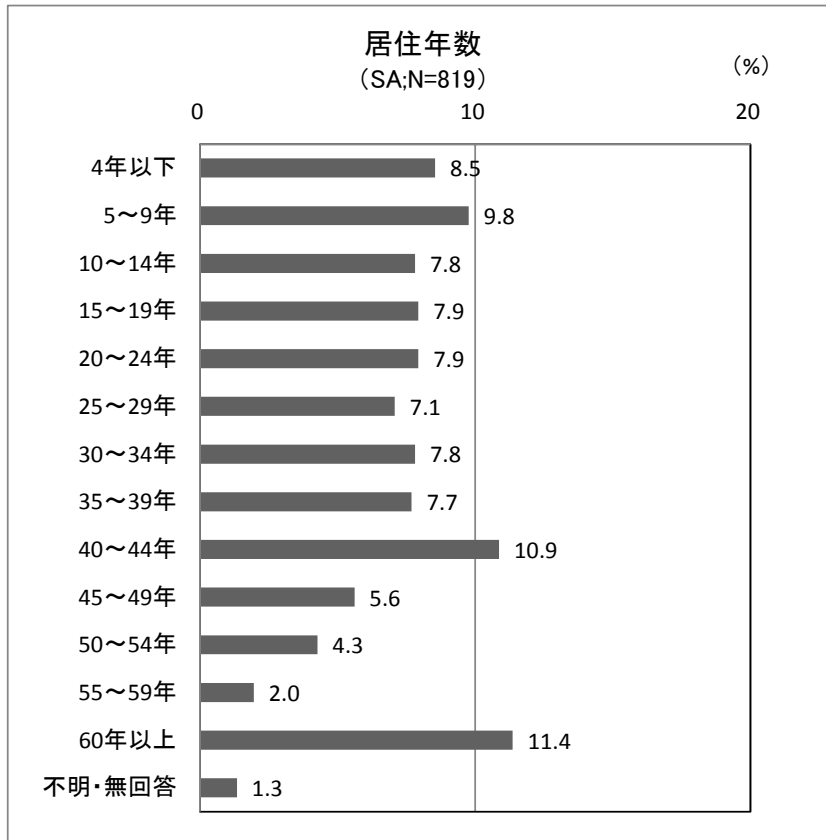
② 年齢

「60～69歳」が最も多く22.6%、次いで「70～79歳」が19.4%、「40～49歳」が14.8%、「30～39歳」が13.8%などとなっています。



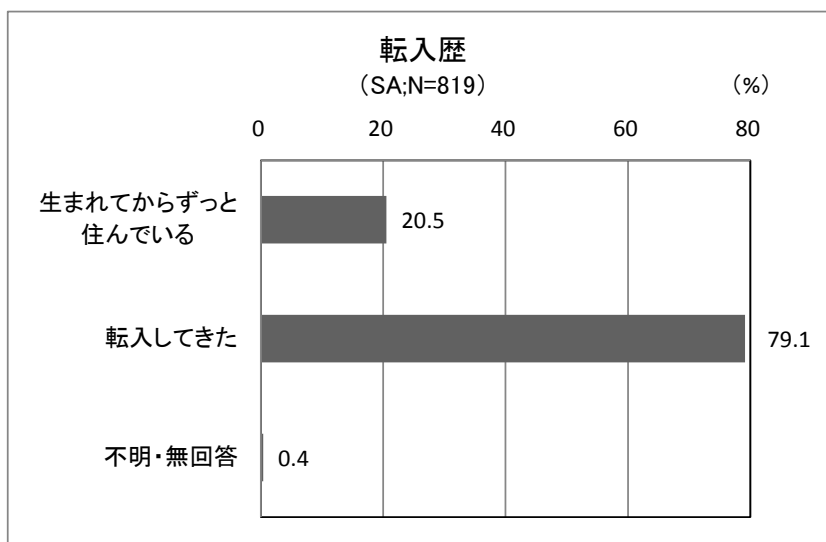
③ 居住年数

「40～44年」が最も多く10.9%、次いで「60年以上」が11.4%、「5～9年」が9.8%、「4年以下」が8.5%などとなっています。



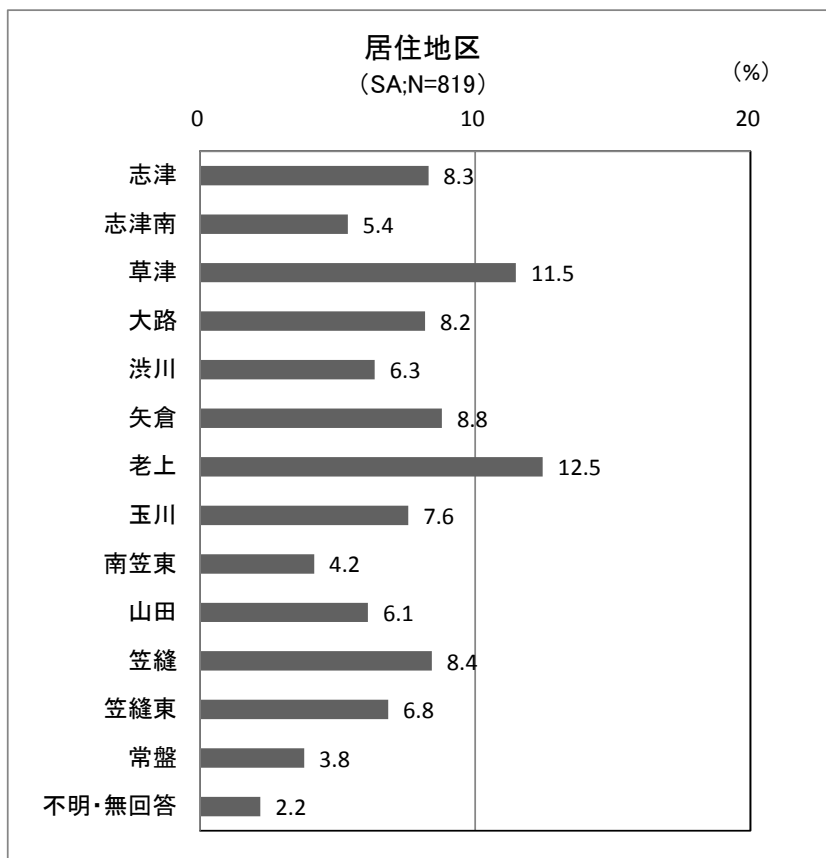
④ 転入歴

「生まれてからずっと住んでいる」が20.5%、「転入してきた」が79.1%となっています。



⑤ 居住地

「老上」が最も多く12.5%、次いで「草津」が11.5%、「矢倉」が8.8%、「笠縫」が8.4%、「志津」が8.3%、「大路」が8.2%などとなっています。



(2) 基本方針別にみる満足度評価

① 「人」が輝くまちをつくるための基本方針

「満足」は「学校施設の整備」が最も多く9.4%、次いで「人権の尊重」が7.8%などとなっています。

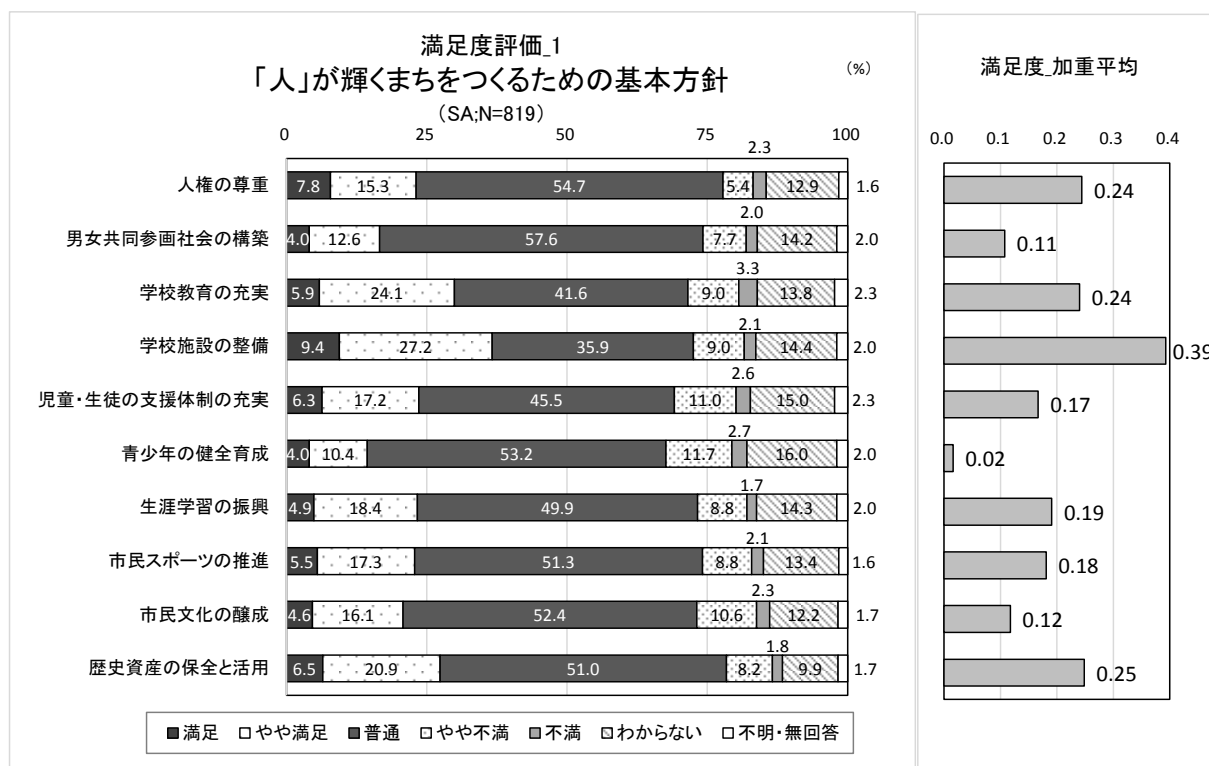
「やや満足」は「学校施設の整備」が最も多く27.2%、次いで「学校施設の充実」が24.1%などとなっています。

「普通」は「男女共同参画社会の構築」が最も多く57.6%、次いで「人権の尊重」が54.7%などとなっています。

「やや不満」は「青少年の健全育成」が最も多く11.7%、次いで「児童・生徒の支援体制の充実」が11.0%などとなっています。

「不満」は「学校施設の充実」が最も多く3.3%、次いで「青少年の健全育成」が2.7%などとなっています。

「わからない」は「青少年の健全育成」が最も多く16.0%、次いで「児童・生徒の支援体制の充実」が15.0%などとなっています。



加重平均について：「満足 (2)」「やや満足 (1)」「普通 (0)」「やや不満 (-1)」「不満 (-2)」の加重評点を与えて平均点を求めたものである。

② 「安心」が得られるまちをつくるための基本方針

「満足」は「母子保健等の充実」が最も多く10.1%、次いで「市民の健康づくり」が7.6%などとなっています。

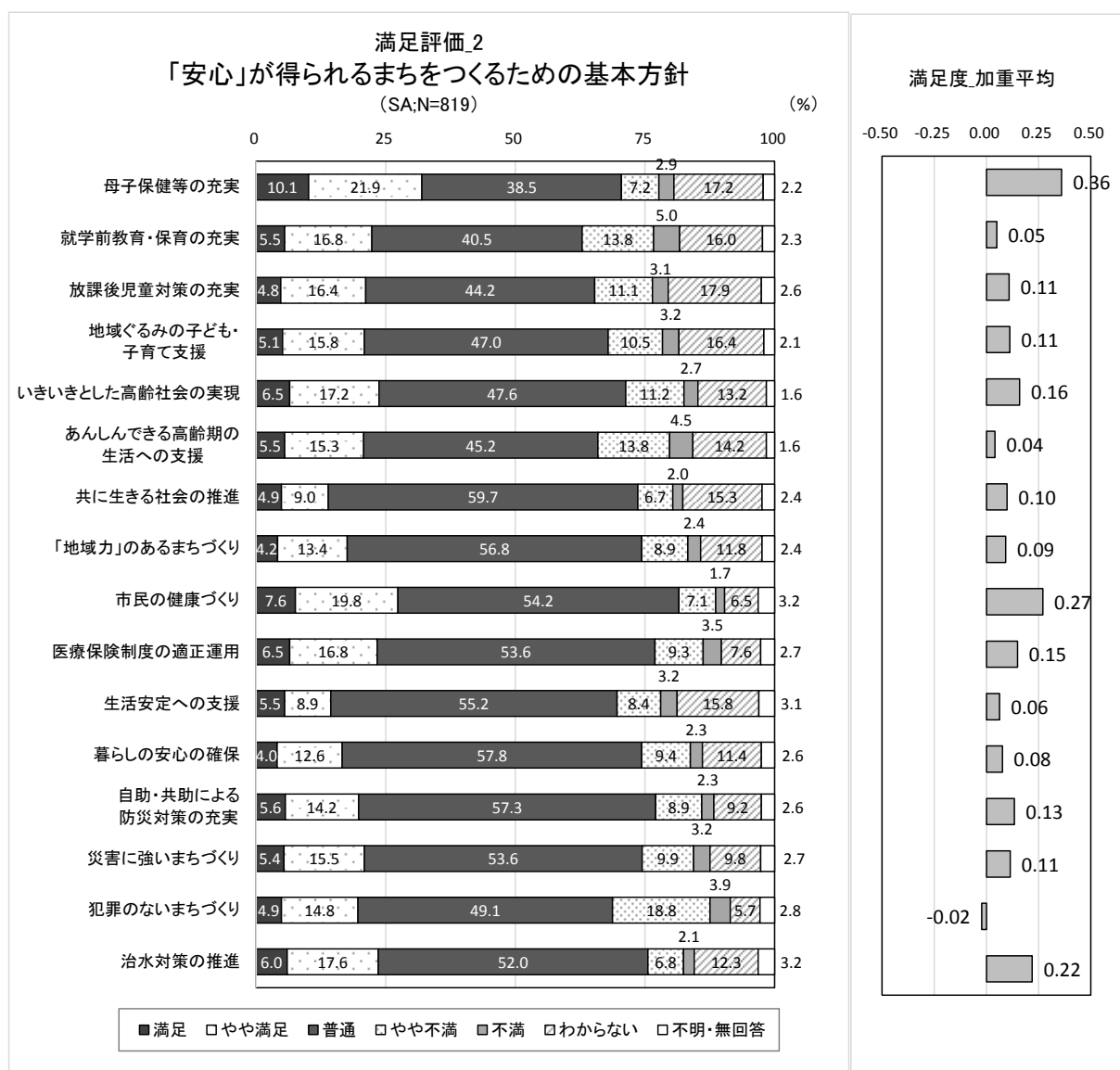
「やや満足」は「母子保健等の充実」が最も多く21.9%、次いで「市民の健康づくり」が19.8%などとなっています。

「普通」は「共に生きる社会の推進」が最も多く59.7%、次いで「暮らしの安心の確保」が57.8%などとなっています。

「やや不満」は「犯罪のないまちづくり」が最も多く18.8%、次いで「就学前教育・保育の充実」「あんしんできる高齢期の生活への支援」が13.8%などとなっています。

「不満」は「就学前教育・保育の充実」が最も多く5.0%、次いで「あんしんできる高齢期の生活への支援」が4.5%などとなっています。

「わからない」は「放課後児童対策の充実」が最も多く17.9%、次いで「母子保健等の充実」が17.2%などとなっています。



③ 「心地よさ」が感じられるまちをつくるための基本方針

「満足」は「水の安定供給」が最も多く 13.3%、次いで「下水道の安定基盤づくり」が 9.9%などとなっています。

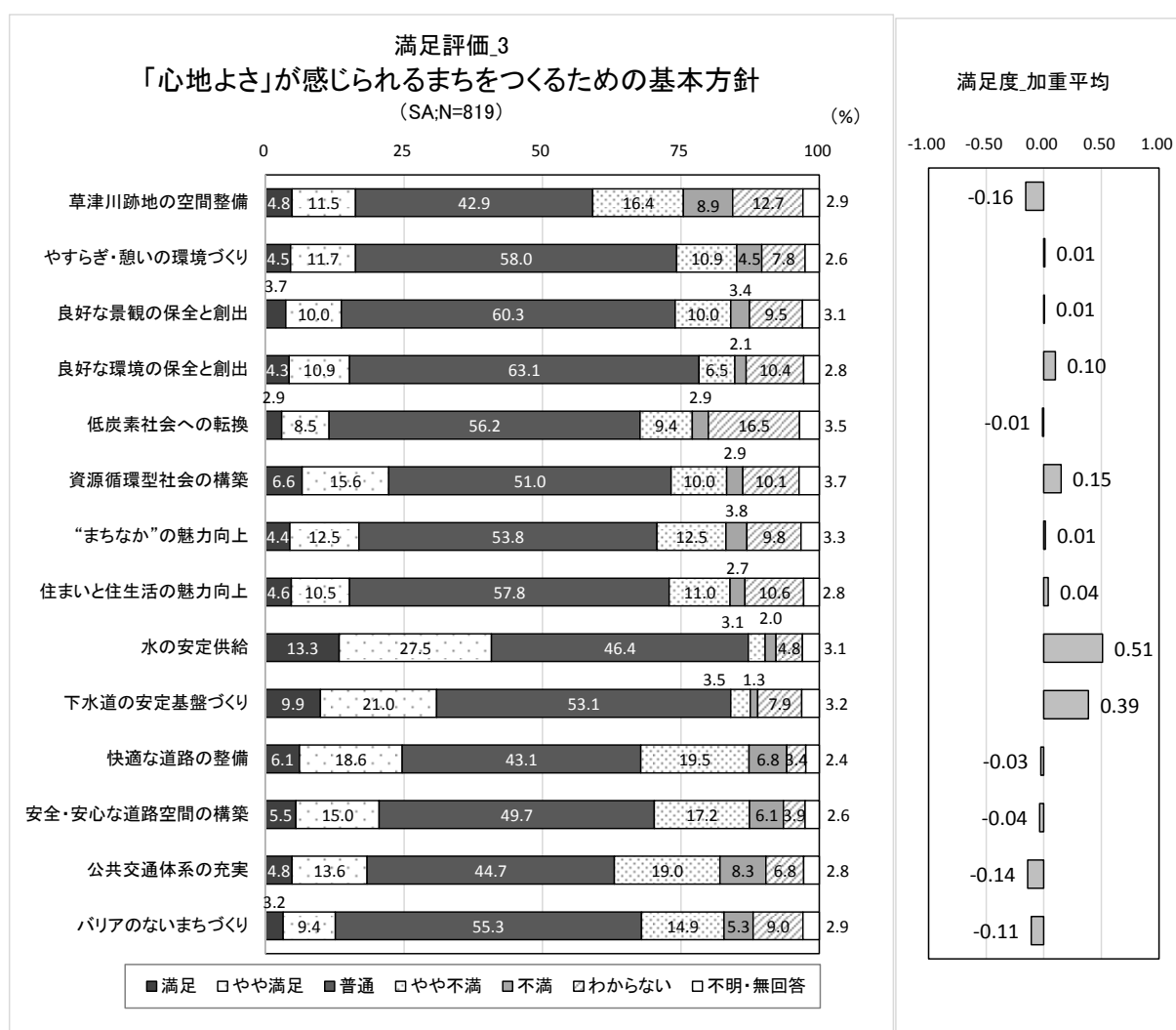
「やや満足」は「水の安定供給」が最も多く 27.5%、次いで「下水道の安定基盤づくり」が 21.0%などとなっています。

「普通」は「良好な環境の保全と創出」が最も多く 63.1%、次いで「良好な景観の保全と創出」が 60.3%などとなっています。

「やや不満」は「快適な道路の整備」が最も多く 19.5%、次いで「公共交通体系の充実」が 19.0%などとなっています。

「不満」は「草津川跡地の空間整備」が最も多く 8.9%、次いで「公共交通体系の充実」が 8.3%などとなっています。

「わからない」は「低炭素社会への転換」が最も多く 16.5%、次いで「草津川跡地の空間整備」が 12.7%などとなっています。



④ 「活気」があふれるまちをつくるための基本方針

「満足」は「中心市街地の魅力向上」「観光の振興」が最も多く5.6%、次いで「農業の振興」が5.1%などとなっています。

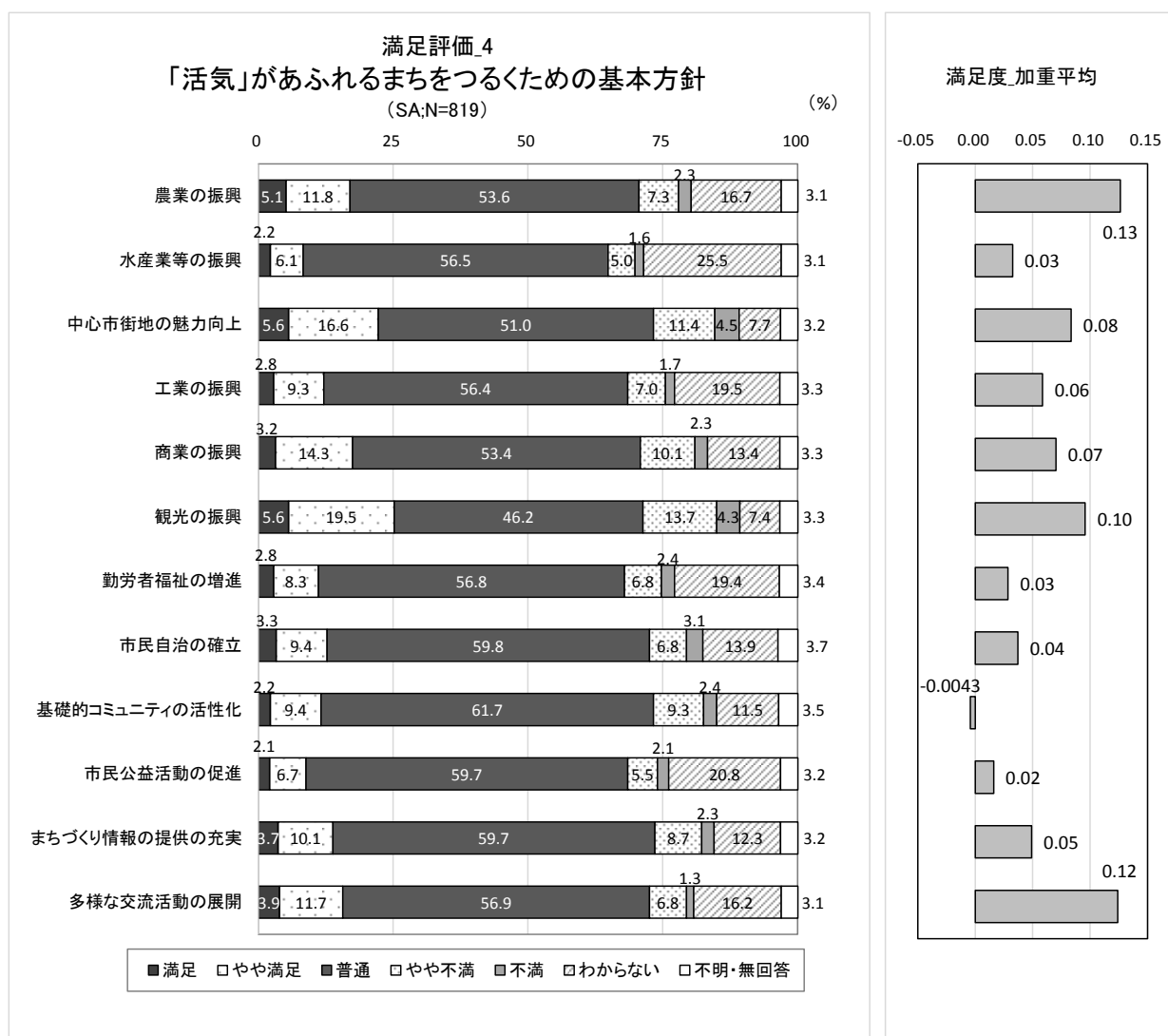
「やや満足」は「観光の振興」が最も多く19.5%、次いで「中心市街地の魅力向上」が16.6%などとなっています。

「普通」は「基礎的コミュニティの活性化」が最も多く61.7%、次いで「市民自治の確立」が59.8%などとなっています。

「やや不満」は「観光の振興」が最も多く13.7%、次いで「中心市街地の魅力向上」が11.4%などとなっています。

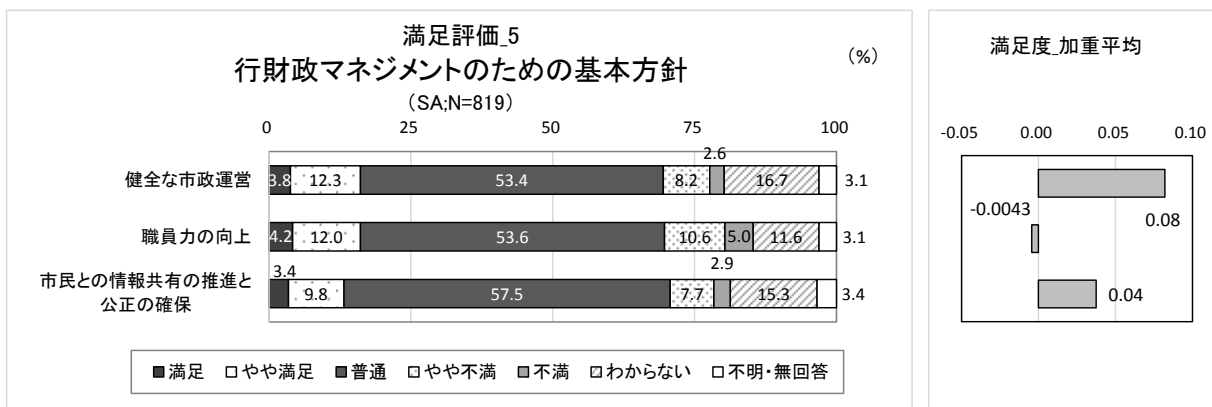
「不満」は「中心市街地の魅力向上」が最も多く4.5%、次いで「観光の振興」が4.3%などとなっています。

「わからない」は「水産業等の振興」が最も多く25.5%、次いで「市民公益活動の促進」が20.8%などとなっています。



⑤ 「行財政マネジメント」のための基本方針

「満足」は「職員力の向上」が最も多く 4.2%などとなっています。
 「やや満足」は「健全な市政運営」が最も多く 12.3%などとなっています。
 「普通」は「市民との情報共有の推進と公正の確保」が最も多く 57.5%などとなっています。
 「やや不満」は「職員力の向上」が最も多く 10.6%などとなっています。
 「不満」は「職員力の向上」が最も多く 5.0%などとなっています。
 「わからない」は「健全な市政運営」が最も多く 16.7%などとなっています。



(3) 基本方針別にみる重要度評価

① 「人」が輝くまちをつくるための基本方針

「思う」は「学校教育の充実」が最も多く 40.4%、次いで「児童・生徒の支援体制の充実」が 36.6% などとなっています。

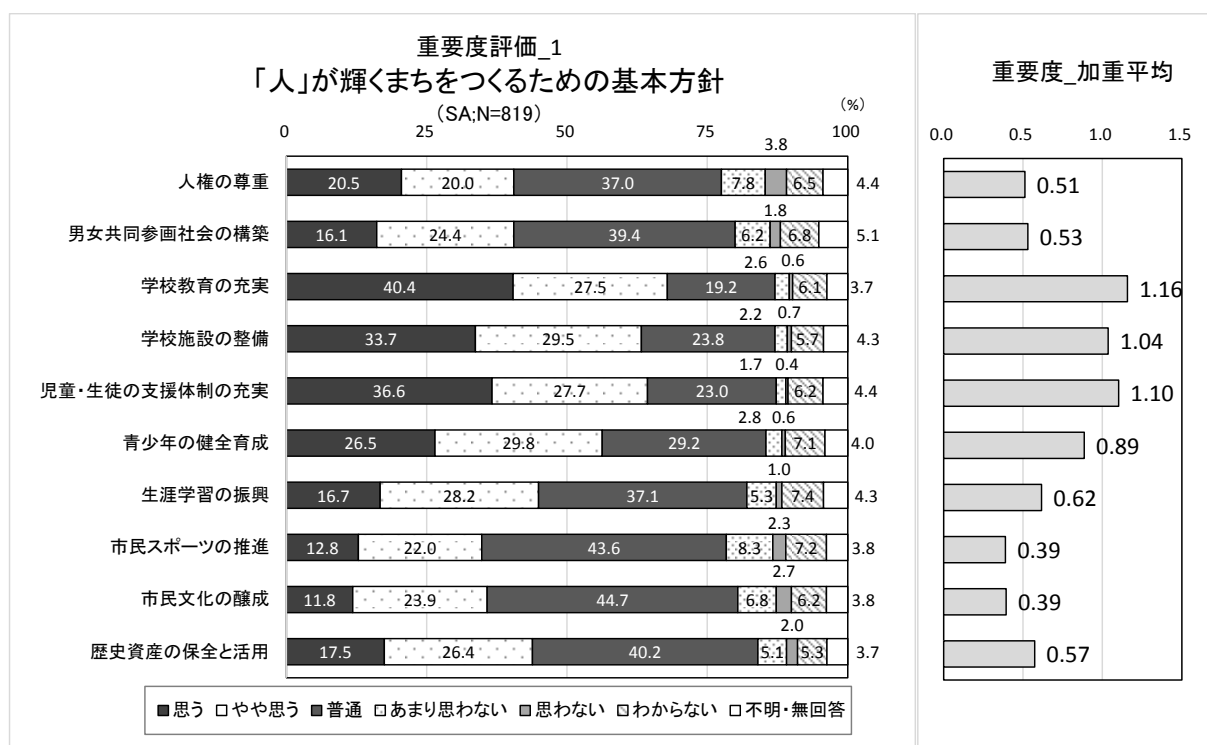
「やや思う」は「青少年の健全育成」が最も多く 29.8%、次いで「学校施設の整備」が 29.5% などとなっています。

「普通」は「市民文化の醸成」が最も多く 44.7%、次いで「市民スポーツの推進」が 43.6% となっている。

「あまり思わない」は「市民スポーツの推進」が最も多く 8.3%、次いで「人権の尊重」が 7.8% などとなっています。

「思わない」は「人権の尊重」が最も多く 3.8%、次いで「市民文化の醸成」が 2.7% などとなっています。

「わからない」は「生涯学習の振興」が最も多く 7.4%、次いで「市民スポーツの推進」が 7.2% などとなっています。



加重平均について：「思う（2）」「やや思う（1）」「普通（0）」「あまり思わない（-1）」「思わない（-2）」の加重評点を与えて平均点を求めたものである。

② 「安心」が得られるまちをつくるための基本方針

「思う」は「犯罪のないまちづくり」が最も多く 44.6%、次いで「就学前教育・保育の充実」が 42.2% などとなっています。

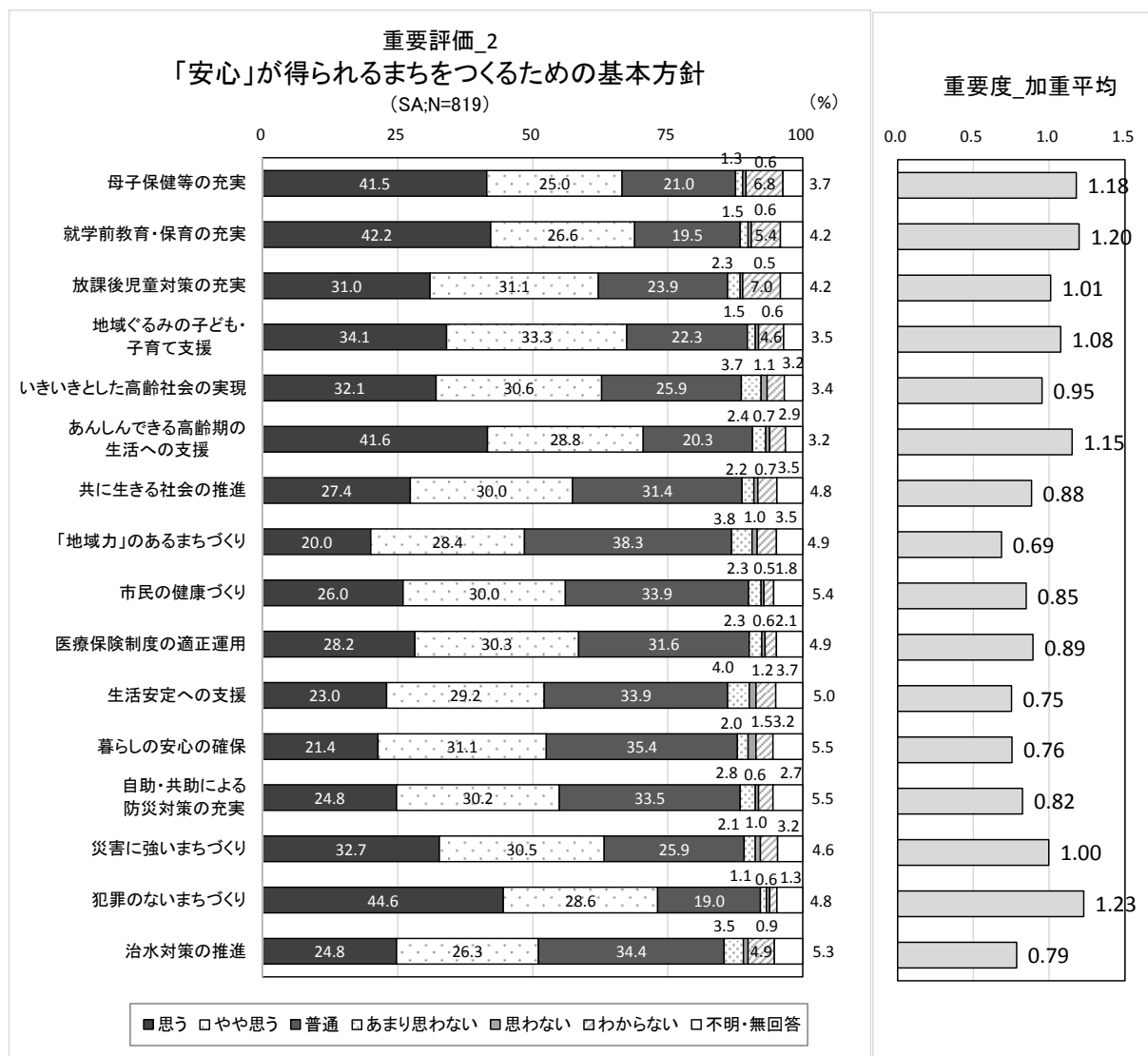
「やや思う」は「地域ぐるみの子ども・子育て支援」が最も多く 33.3%、次いで「放課後児童対策の充実」「暮らしの安心の確保」が 31.1% などとなっています。

「普通」は「「地域力」のあるまちづくり」が最も多く 38.3%、次いで「暮らしの安心の確保」が 35.4% などとなっています。

「あまり思わない」は「生活安定への支援」が最も多く 4.0%、次いで「地域力」のあるまちづくり」が 3.8% などとなっています。

「思わない」は「暮らしの安心の確保」が最も多く 1.5%、次いで「生活安定への支援」が 1.2% などとなっています。

「わからない」は「放課後児童対策の充実」が最も多く 7.0%、次いで「母子保健等の充実」が 6.8% などとなっています。



③ 「心地よさ」が感じられるまちをつくるための基本方針

「思う」は「水の安定供給」が最も多く 33.1%、次いで「快適な道路の整備」が 32.2%などとなっています。

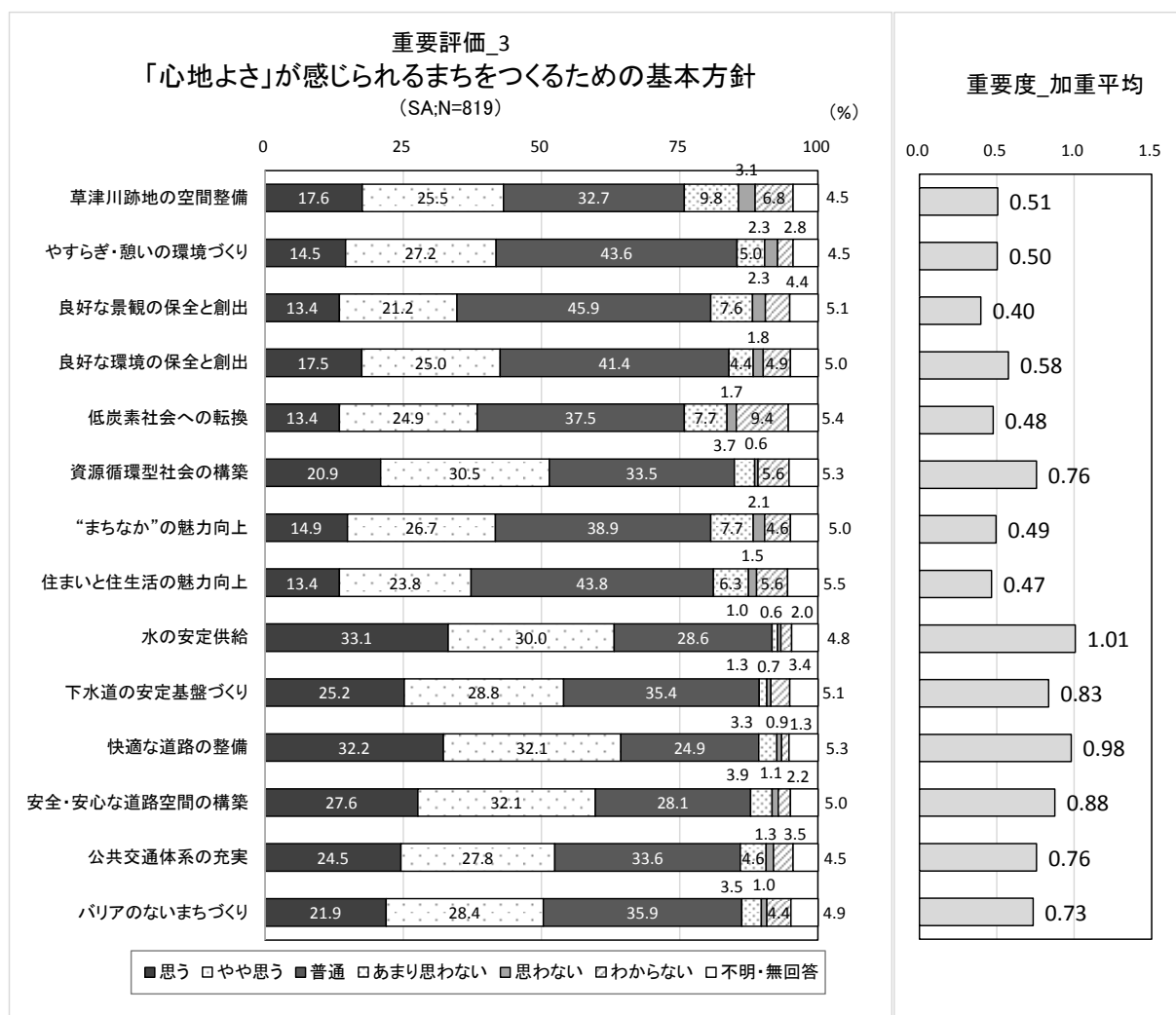
「やや思う」は「快適な道路の整備」「安全・安心な道路空間の構築」が最も多く 32.1%、次いで「資源循環型社会の構築」が 30.5%などとなっています。

「普通」は「良好な景観の保全と創出」が最も多く 45.9%、次いで「住まいと住生活の魅力向上」が 43.8%などとなっています。

「あまり思わない」は「草津川跡地の空間整備」が最も多く 9.8%、次いで「低炭素社会への転換」「“まちなか”の魅力向上」が 7.7%などとなっています。

「思わない」は「草津川跡地の空間整備」が最も多く 3.1%、次いで「やすらぎ・憩いの環境づくり」「良好な景観の保全と創出」が 2.3%などとなっています。

「わからない」は「低炭素社会への転換」が最も多く 9.4%、次いで「草津川跡地の空間整備」が 6.8%などとなっています。



④ 「活気」があふれるまちをつくるための基本方針

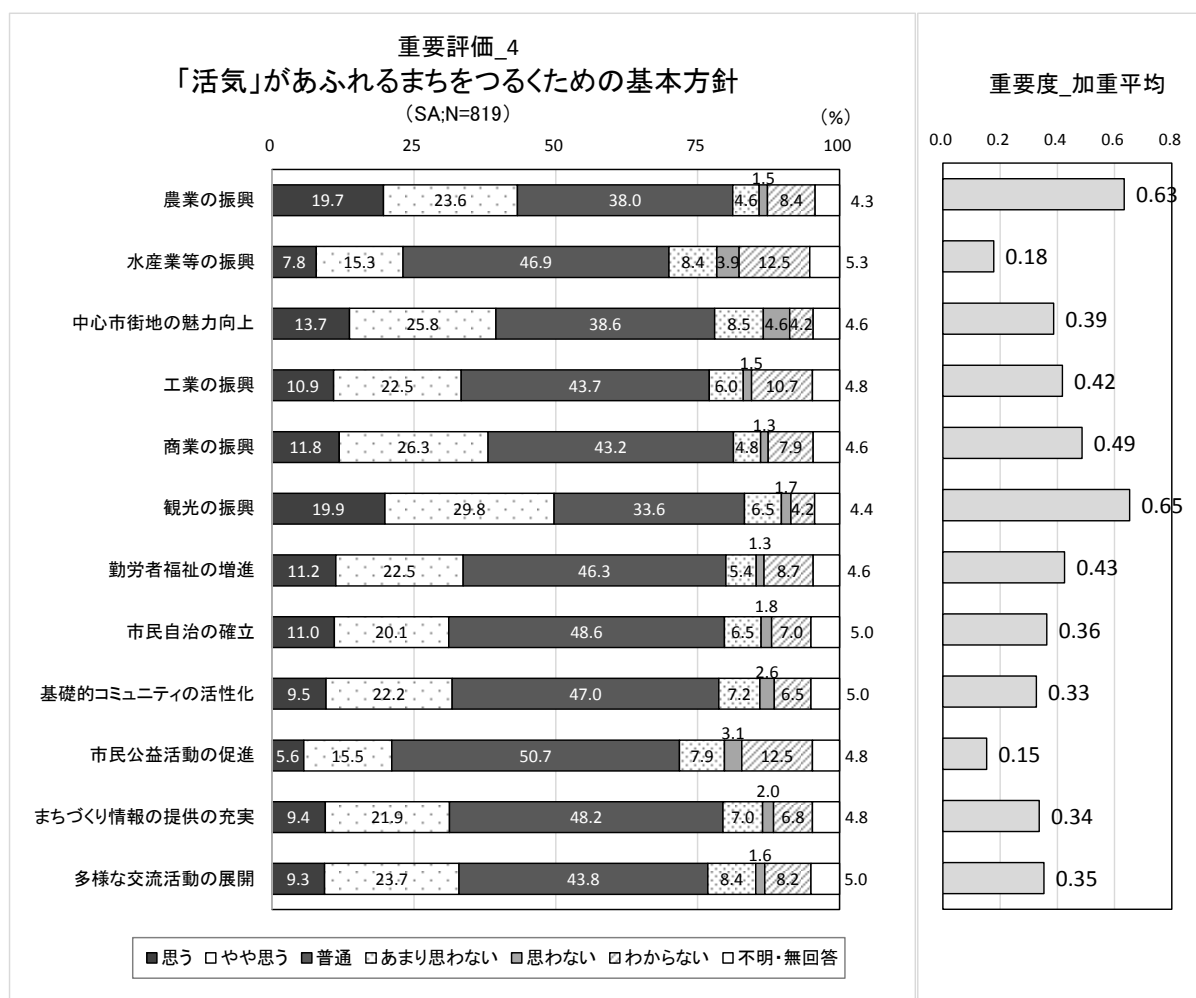
「思う」は「観光の振興」が最も多く 19.9%、次いで「農業の振興」が 19.7%などとなっています。
 「やや思う」は「観光の振興」が最も多く 29.8%、次いで「商業の振興」が 26.3%などとなっています。

「普通」は「市民公益活動の促進」が最も多く 50.7%、次いで「市民自治の確立」が 48.6%などとなっています。

「あまり思わない」は「中心市街地の魅力向上」が最も多く 8.5%、次いで「水産業等の振興」「多様な交流活動の展開」が 8.4%などとなっています。

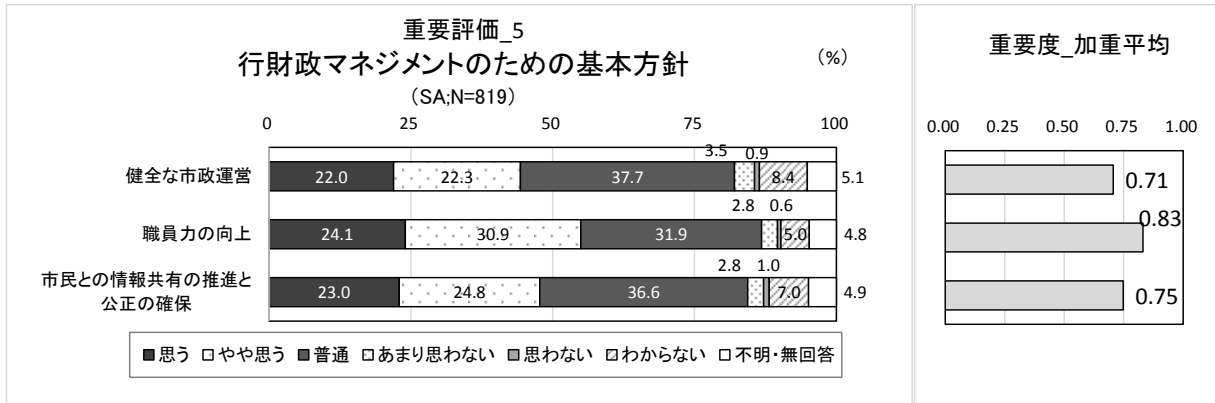
「思わない」は「中心市街地の魅力向上」が最も多く 4.6%、次いで「水産業等の振興」が 3.9%などとなっています。

「わからない」は「水産業等の振興」「市民公益活動の促進」が最も多く 12.5%、次いで「工業の振興」が 10.7%などとなっています。



⑤ 「行財政マネジメント」のための基本方針

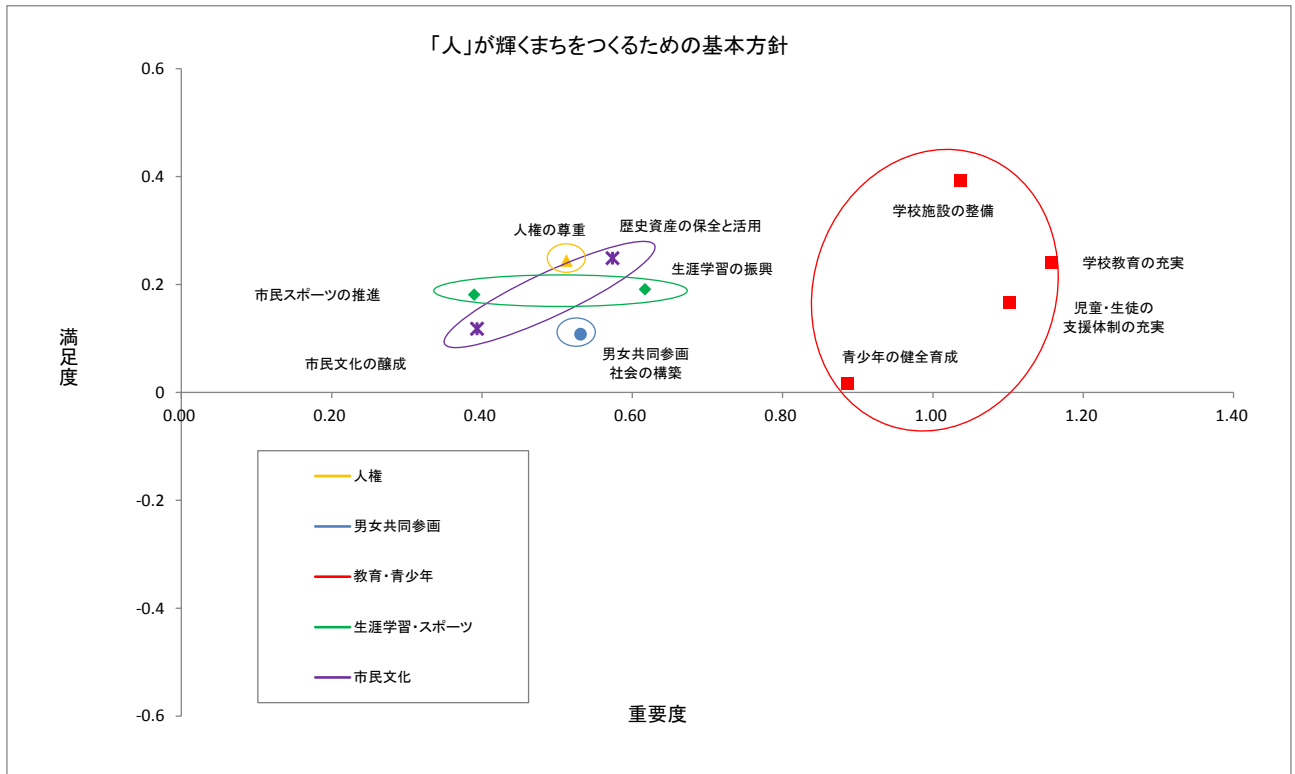
「思う」は「職員力の向上」が最も多く 24.1%などとなっています。
 「やや思う」は「職員力の向上」が最も多く 30.9%などとなっています。
 「普通」は「健全な市政運営」が最も多く 37.7%などとなっています。
 「あまり思わない」は「健全な市政運営」が最も多く 3.5%などとなっています。
 「思わない」は「市民との情報共有の推進と公正の確保」が最も多く 1.0%などとなっています。
 「わからない」は「健全な市政運営」が最も多く 8.4%などとなっています。



(4) 基本方針別にみる満足度と重要度

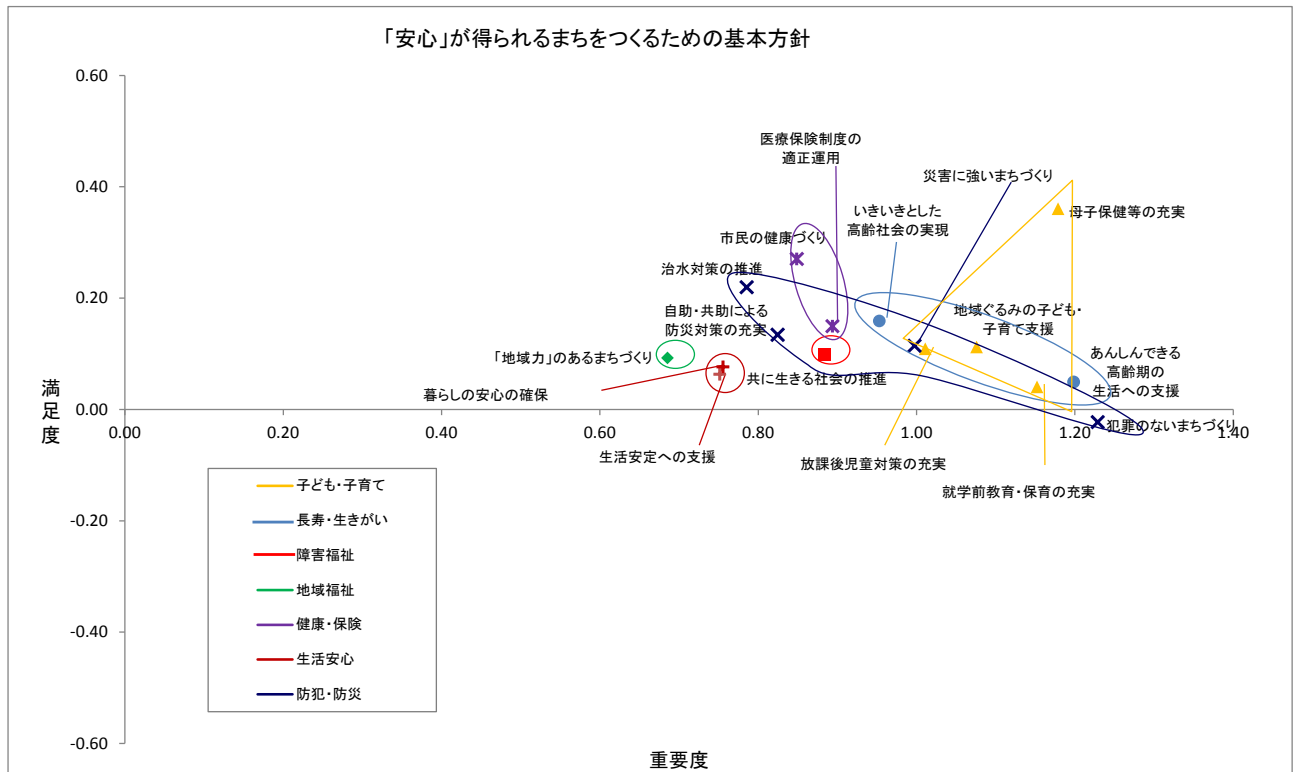
① 「人」が輝くまちをつくるための基本方針

「人」が輝くまちをつくるための基本方針のうち、「教育・青少年」は全ての基本方針の中でも満足度・重要度ともに比較的高くなっています。



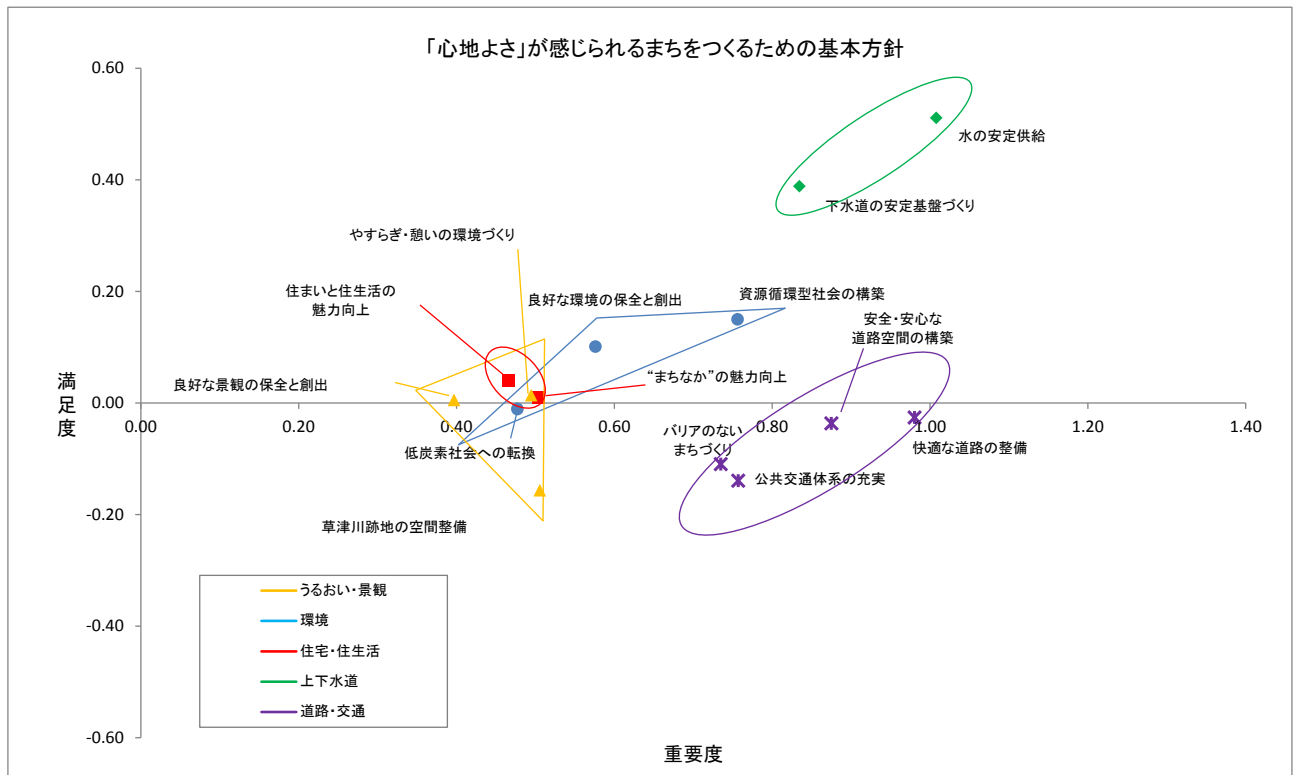
② 「安心」が得られるまちをつくるための基本方針

「安心」が得られるまちをつくるための基本方針は、全ての基本方針で満足度・重要度ともに比較的高くなっています。



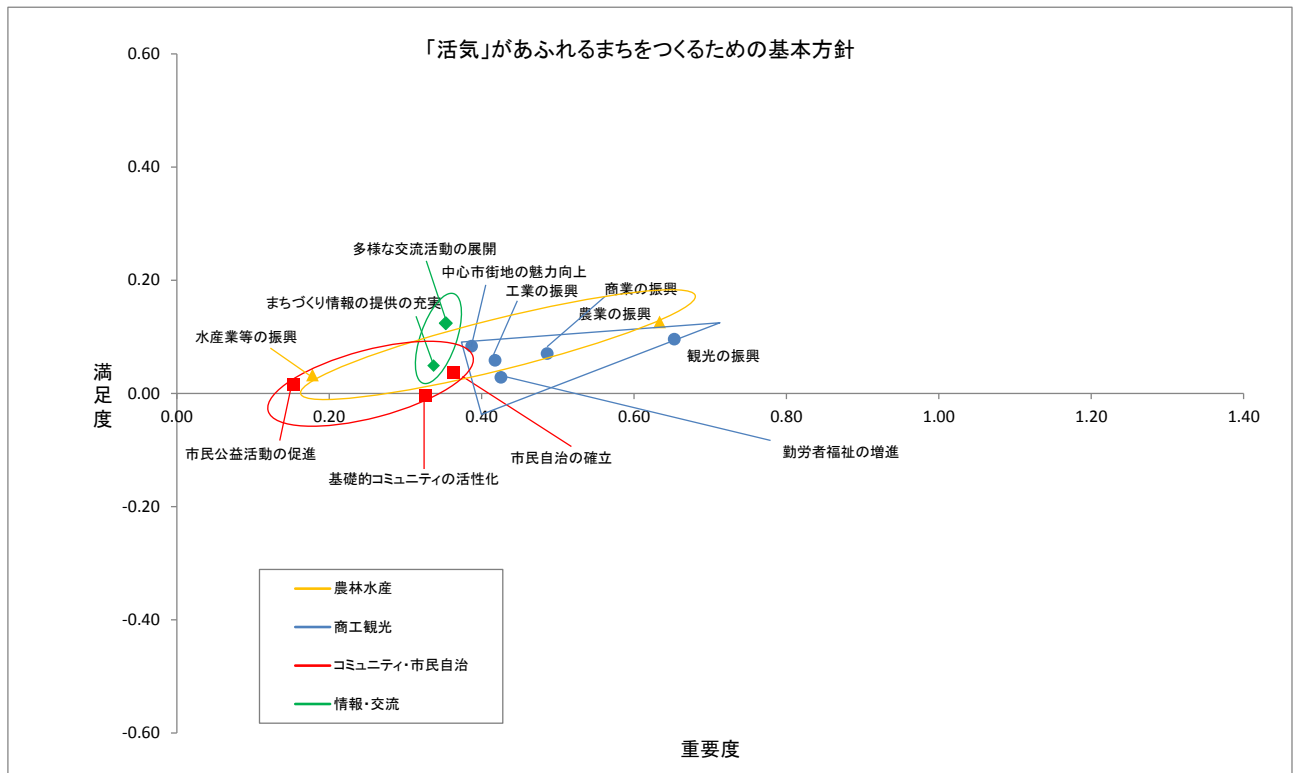
③ 「心地よさ」が感じられるまちをつくるための基本方針

「心地よさ」が感じられるまちをつくるための基本方針のうち、「上下水道」は満足度・重要度ともに特に高くなっています。一方「道路・交通」は、満足度が低く重要度が高くなっています。



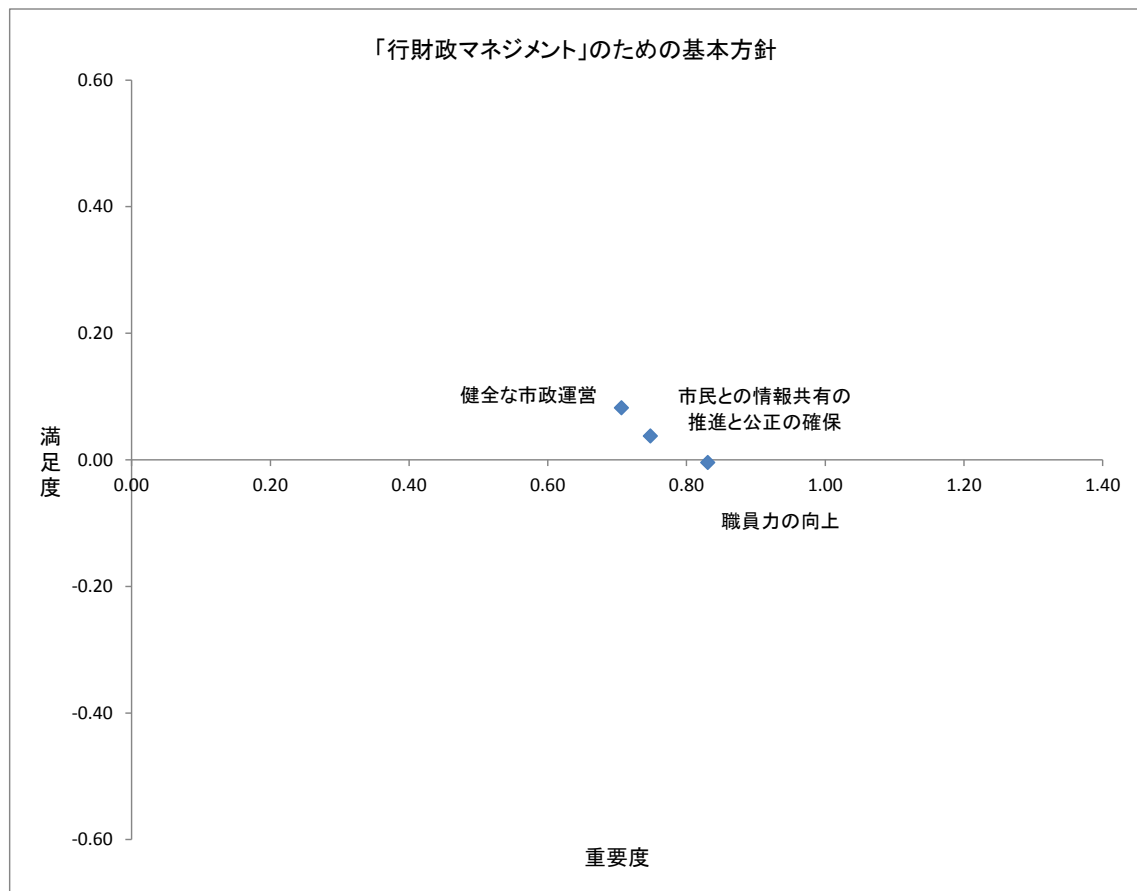
④「活気」があふれるまちをつくるための基本方針

「活気」があふれるまちをつくるための基本方針は、相対的に一定の満足度はありますが、重要度が比較的低くなっています。



⑤ 「行財政マネジメント」のための基本方針

「行財政マネジメント」のための基本方針のうち、「職員力の向上」の満足度が低くなっています。



(5) まちの住み心地や日常の生活行動

① 住環境評価

「そう思う」は「買物をする環境が整っている」が最も多く 25.2%、次いで「住宅地などの住まいの環境がよい」が 24.5%などとなっています。

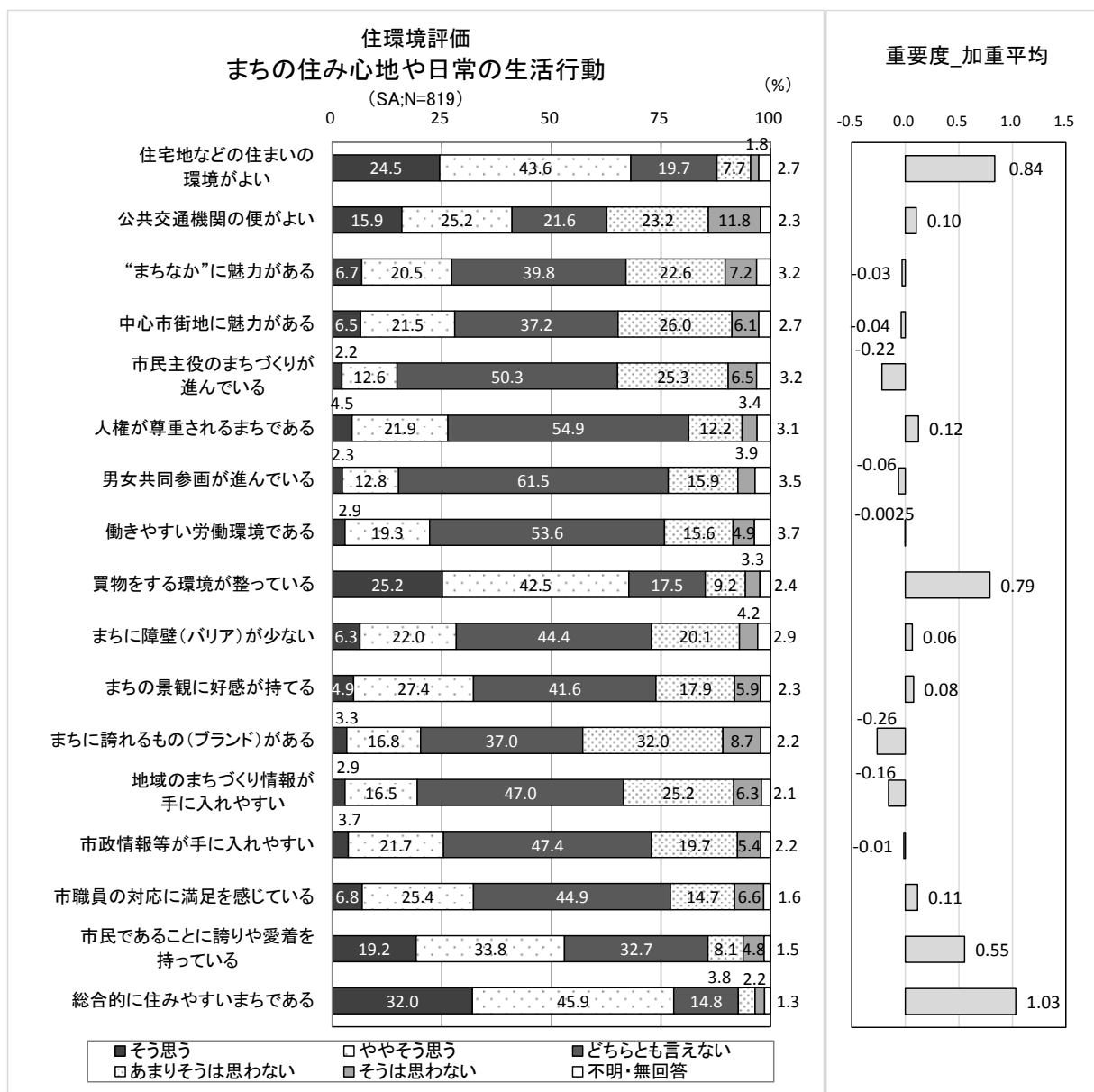
「ややそう思う」は「住宅地などの住まいの環境がよい」が最も多く 43.6%、次いで「買物をする環境が整っている」が 42.5%などとなっています。

「どちらとも言えない」は「男女共同参画が進んでいる」が最も多く 61.5%、次いで「人権が尊重されるまちである」が 54.9%などとなっています。

「あまりそう思わない」は「まちに誇れるもの(ブランド)がある」が最も多く 32.0%、次いで「中心市街地に魅力がある」が 26.0%などとなっています。

「そう思わない」は「公共交通機関の便がよい」が最も多く 11.8%、次いで「まちに誇れるもの(ブランド)がある」が 8.7%などとなっています。

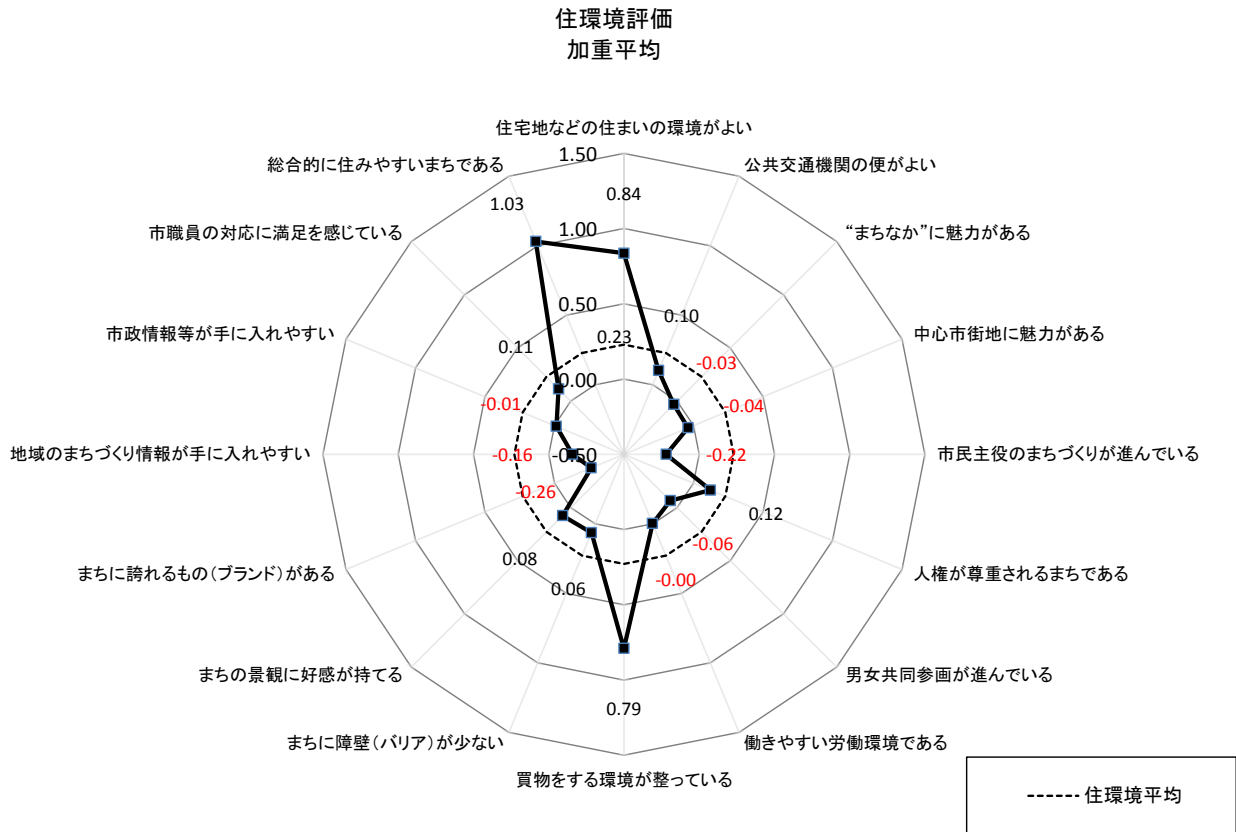
「総合的に住みやすいまちである」については、「ややそう思う」が最も多く 45.9%、次いで「そう思う」が 32.0%、「どちらとも言えない」が 14.8%などとなっています。



【加重平均】

「総合的に住みやすいまちである」「住宅地などの住まいの環境がよい」において評価が高くなっています。

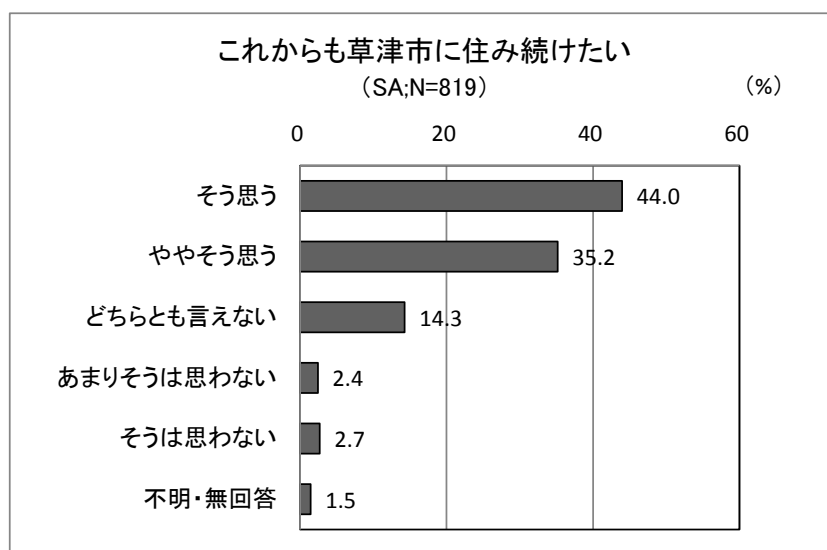
「まちに誇れるもの（ブランド）がある」「市民主役のまちづくりが進んでいる」「地域のまちづくり情報が手に入れやすい」においては評価が低くなっています。



加重平均について：「そう思う（2）」「ややそう思う（1）」「どちらとも言えない（0）」「あまりそうは思わない（-1）」「そうは思わない（-2）」として全体の平均値を算出したものである。

② 定住意向

「これからも草津市に住み続けたいか」については、「そう思う」が最も多く 44.0%、次いで「ややそう思う」が 35.2%などとなっています。



③ 日常の行動

「地元の農産物を購入するよう心掛けている」は「ややそう思う」が最も多く 35.0%、次いで「どちらとも言えない」が 30.6%などとなっています。

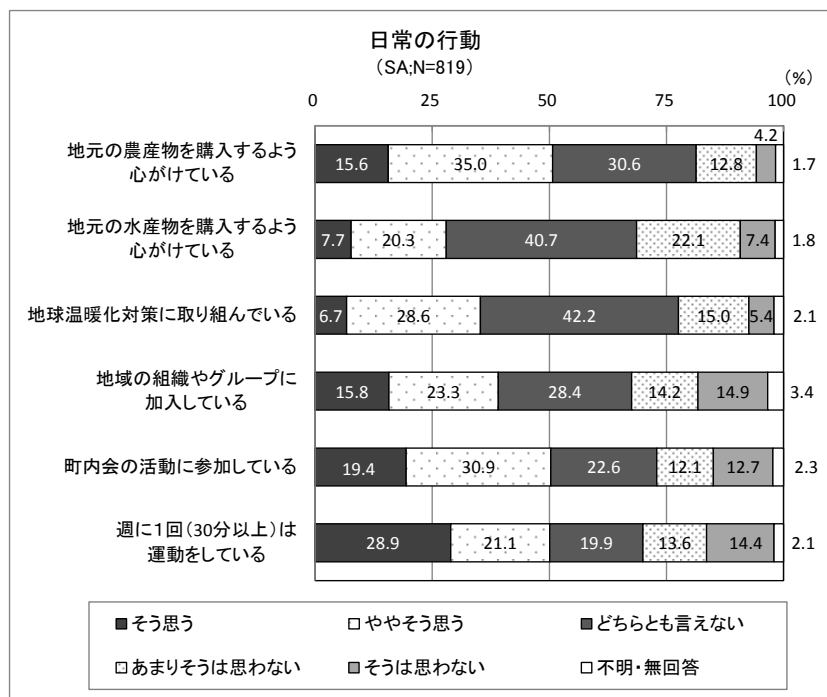
「地元の水産物を購入するよう心掛けている」は「どちらとも言えない」が最も多く 40.7%、次いで「あまりそうは思わない」が 22.1%などとなっています。

「地球温暖化対策に取り組んでいる」は「どちらとも言えない」が最も多く 42.2%、次いで「ややそう思う」が 28.6%などとなっています。

「地域の組織やグループに加入している」は「どちらとも言えない」が最も多く 28.4%、次いで「ややそう思う」が 23.3%などとなっています。

「町内会の活動に参加している」は「ややそう思う」が最も多く 30.9%、次いで「どちらとも言えない」が 22.6%などとなっています。

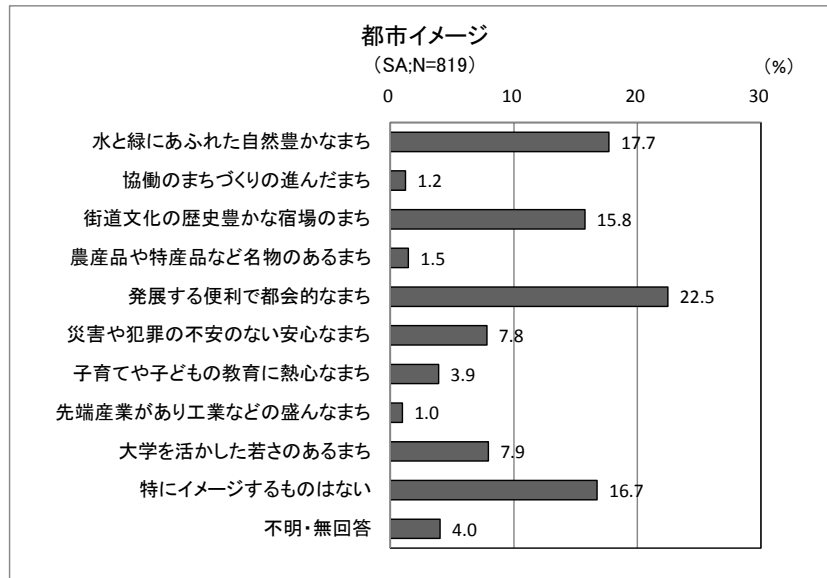
「週に1回(30分以上)は運動をしている」は「そう思う」が最も多く 28.9%、次いで「ややそう思う」が 21.1%などとなっています。



(6) 草津市のイメージ

① 都市イメージ

「発展する便利で都会的なまち」が最も多く 22.5%、次いで「水と緑にあふれた自然豊かなまち」が 17.7%、「特にイメージするものはない」が 16.7%などとなっています。



② 地域資源

「烏丸半島など琵琶湖畔」が最も多く 18.5%、次いで「イナズマロックフェス」が 10.1%、「草津宿本陣」が 9.6%などとなっています。

